

——ブロックチェーンシステム及びアプリケーション小特集（英文論文誌 D）論文募集——

ブロックチェーンは、コンセンサスベースの分散システムであり、スマートコントラクト、暗号化、ハッシング、マルクルツリーなどのテクノロジーと組み合わせられています。ブロックチェーンの理論、モデル、技術、システム、アプリケーションに関する研究を促進させるため、電子情報通信学会情報・システムソサイエティ小特集「ブロックチェーンシステム及びアプリケーション」（2022年2月）を企画致しました。本小特集は、今後開催される予定である次の4つの国際会議と密接に関係しています：

- (1) BlockchainSys 2020 (2020年12月, 中国・広州)
- (2) IEEE TrustCom 2020 (2020年12月, 中国・広州)
- (3) SpaCCS 2020 (2020年10月, 中国・南京)
- (4) WISA 2020 (2020年9月, 中国・広州)

上記の学会から優秀な論文を本小特集に推薦します。同時に、広く一般投稿も呼びかけ、個々の研究者に本小特集への投稿を積極的に呼びかけます。

1. 対象分野

本小特集は、以下の分野（限定されるものではありません）に関する論文を募集します：

- Part 1 ブロックチェーンの理論とモデル：(1) セキュリティモデルとアーキテクチャ (2) 攻撃手法 (3) セキュリティ、プライバシー、トラスト管理 (4) 分散コンセンサスプロトコル (5) アイデンティティ管理と資産追跡 (6) フォールトトレランス (7) スケーラビリティと最適化 (8) 相互運用性と標準化 (9) ベンチマーキングとパフォーマンス分析 (10) シミュレーションとパフォーマンス評価
- Part 2 ブロックチェーン技術：(1) 分散型台帳技術 (2) トークンエコノミーと暗号通貨 (3) 分散アプリケーションとインフラストラクチャ (4) スマートコントラクトとチェーンコード (5) セキュアスマートコントラクトとチェーンコード (6) スマートコントラクトの信頼された実行 (7) AIとスマートコントラクト (8) ゲーム理論 (9) 匿名性とデータプライバシー (10) ゼロ知識証明 (11) エッジ／フォグコンピューティング
- Part 3 ブロックチェーンシステム：(1) ブロックチェーンとIoT (2) ブロックチェーンとスマートホーム／シティ (3) ブロックチェーンとエネルギーシステム (4) ブロックチェーンとヘルスケア (5) ブロックチェーンとインダストリー4.0 (6) ブロックチェーンとサプライチェーン管理 (7) ブロックチェーンとクラウドソーシング (8) ブロックチェーンとクラウドコンピューティング (9) ブロックチェーンとソーシャルネットワークワーキング (10) ブロックチェーンとガバナンス／ポリシー／規制 (11) ブロックチェーンとサイバー物理システム (12) ブロックチェーンと農業 (13) ブロックチェーンと自動運転 (14) ブロックチェーンとM2M通信 (15) ブロックチェーンと5Gネットワーク

2. 論文の執筆と取り扱い

通常の英文論文と同一とします。原則として、刷り上がりは論文8ページ、レター2ページを標準とします。詳細については“Information for Authors” (https://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_iss.html) を御参照下さい。

3. 投稿方法

Webによる電子投稿のみ受け付けます。以下の手順で御投稿下さい。

1). https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_e.aspx より投稿を行って下さい。なお投稿時には必ず“Journal/Section”で [Special-BC] Security, Privacy, Anonymity and Trust in Cyberspace Computing and Communications を選択して下さい。[Regular-ED] は選択しないで下さい。

2). Webによる電子投稿の際、“Copyright Transfer and Page Charge Agreement”に承諾して頂きます。

4. 論文投稿締切日：2021年3月10日（水）厳守

5. 掲載料支払い通知日：2021年10月

6. 掲載料支払い期限：2021年11月15日

7. 採否判定通知

著者には2021年10月中旬ごろまでに採否判定結果を通知します。なお、論文採録の場合には、掲載前に掲載料をお支払い頂きます。掲載料をお支払い頂いていない論文は掲載されないこととなりますので御注意下さい。

詳細はこちらを御覧下さい。 https://www.ieice.org/eng/shiori/page2_ess.html#5-1-b

8. 問合せ先

面 和成 筑波大学システム情報系

E-mail : omote@risk.tsukuba.ac.jp ;

9. 小特集編集委員会

編集委員長 王国军 (中南大, 中国), Yizhi Ren (杭州電子科学技術大, 中国)

編集副委員長 面 和成 (筑波大, 日本), Saqib Ali (University of Agriculture, Faisalabad, パキスタン)

編集委員 Santoso Bagus (電通大, 日本), Arcangelo Castiglione (Università di Salerno, イタリア), Jiageng Chen (華中師範大, 中国), Yaokai Feng (九州大, 日本), 廣瀬勝一 (福井大, 日本), Qun Jin (早大, 日本), Georgios Kambourakis (University of the Aegean, ギリシャ), 河内亮周 (阪大, 日本), Anfeng Liu (中南大, 中国), Qin Liu (湖南大, 中国), 満保雅浩 (金沢大, 日本), 三宅 優 (KDDI R & D Lab, 日本), Tao Peng (広州大, 中国), Seong Han Shin (産総研, 日本), 白石善明 (神戸大, 日本), Chunhua Su (会津大, 日本), Licheng Wang (北京郵電大, 中国), Tian Wang (華僑大, 中国), Bebo White (スタンフォード大, 米国), 山内利宏 (岡山大, 日本), 矢内直人 (阪大, 日本), Chung-Huang Yang (国立高雄師範大, 台湾), Deze Zeng (中国地質大, 中国)

10. 付 記

- * 招待論文を含むすべての著者は、論文が採録となった場合、2021年10月頃に掲載料をお支払い頂くこととなります。2021年11月15日までに支払いが完了しない場合には、採録取り消しとなります。
- * 投稿に際しては、著者のうち少なくとも1名は本会会員でなければなりません。必要な投稿資格を満たしていない著者からの投稿論文については、投稿を受け付けないこととなりますので御注意下さい。
- * 入会の案内はこちらを御覧下さい。 <https://www.ieice.org/jpn/nyukai/index.html>
- * オープン化：2017年1月号以降に掲載された電子情報通信学会英文論文誌Dのすべての論文を、J-STAGEを通じて全世界の読者へ公開しています。2020年1月号以降に掲載される論文には、電子情報通信学会の多くの論文誌で適用することができるオープンアクセスオプションを適用することができなくなります。(オープン化は、2020年1月以降も継続する予定です。) オープン化とオープンアクセスオプションに関する詳細は、“Information for Authors” (https://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_iss.html) を御参照下さい・オープン化とオープンアクセスオプションに関しては、予告なく変更されることがあります。